

施策：	16	健康づくりの推進	財務コード	12040201-01-654
基本事業：	01	生活習慣の改善	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	週2回以上運動をする市民の割合 定期的に歯科検診を受けている市民の割合 喫煙している市民の割合 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している市民の割合（男性：2合以		担当課	健康推進課
			担当係	健康推進担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	特別会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
国民健康保険被保険者			歩行訓練プール、トレーニング健康測定室の管理運営を委託し、国保被保険者の運動実践者や継続者数の増加及び生活習慣病や介護予防につなげる。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
運動実践者を増加させることで、生活習慣病の予防につなげる。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標	
歩行訓練プール、トレーニング健康測定室の国保被保険者の実利用者数		人	1,111	1,130	1,200	1,150			700	
5. コスト										
事業費		計	千円	5,120	5,128	5,134	7,434			
		国	千円			0	0			
		県	千円	5,120	5,050	5,050	0			
		地方債	千円		0	0	0			
		その他	千円		0	0	0			
一般	千円		78	84	7,434					
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	782	802	838					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	5,902	5,930	5,972	7,434				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている	＜状況＞歩行訓練プール、トレーニング健康測定室の利用者は令和5年度よりわずかに増加し1,130人です。									
どちらかといえばあがっている	＜原因＞自身の健康管理のため、利用を継続している人が多いと考えられます。									
あがっていない（停滞・低下）	＜課題＞国保被保険者数は今後、減っていく予定であるため、実利用者数だけでなく延利用者数もみながら継続的に把握するよう委託事業者に依頼していますが、評価を効果的に行う方法について引き続き検討していく必要があります。									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり	歩行訓練プール及びトレーニング測定室の利用状況については、今後も注視していきます。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
データの管理を見直すことで運動指導がよりの確に行えるよう委託事業者と協議を行っていきます。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄					
国保医療費が増大する中、国保被保険者に対する健康づくりは個人の生活の質を維持するだけでなく医療費削減のためにも求められています。そこで、平成10年11月のカミリーヤ開館に伴いトレーニング健康測定室及び歩行訓練プールを開設し、業者委託により専門職を配置し運動指導を行っています。					高齢化が進み、75歳以上の市民が後期高齢医療へ移行していき、国保被保険者数は今後、減少していく予定。国保被保険者の実利用者だけでなく、継続的な利用をみる延人数もみていく。					